

入院分娩費用改定のお知らせ

令和 8 年 7 月
東京山手メディカルセンター産婦人科

令和 8 年 10 月 1 日から分娩費用を改定いたします。

当院の「入院分娩料」は、以下のものがすべて含まれています。
入院から分娩までの期間に対する入院料、食費、分娩介助料、助産技術料、分娩監視装置による検査料、出生証明書一通の文書料などの一式、産褥期の入院料、食費、寝衣代、医師・助産師による診察料、血液検査料、新生児に対する看護・診察・保育料などが含まれており、正常に経過した自然分娩及び産褥期に要する費用はほぼすべて含まれています。

当院ではこれまで充実した妊婦健診を行う一方で、令和 4 年 5 月の改定を最後に、分娩費用をできるだけ安くおさえてまいりました。

当院では、安心して快適な分娩が行えるよう様々な整備を行っております。医療機器では、3D・4D超音波画像診断装置、汎用超音波画像診断装置の整備を行い、環境面では、病棟の 2 部屋を 6 人床から 4 人床とし、充実した備品を備えた部屋へとリニューアルを終了しております。

昨今は物価高騰に加え、産婦人科医、及び助産師の確保が年々厳しさを増しております。当院では、母児の安全を最優先に、安心して分娩に臨んでいただける医療体制を維持するため、十分な知識と経験を有する産婦人科医と助産師の確保と、質の高い周産期医療の提供に努めております。このような状況を踏まえ、今後も安全で質の高い分娩医療を継続して提供するため、分娩料を改定させていただくことといたしました。

厚生労働省が行った調査では、東京都平均分娩料は 648,309 円となっており、当院といたしましては、令和 8 年 10 月から入院分娩料 **50 万円から 60 万円に値上げさせていただきます。**

何卒、諸事情をご勘案いただきご理解いただきたくお願い申し上げます。